

2024年10～12月期の実質 成長率は3期ぶりに上昇

中国経済

- 輸出の持ち直しなどにより、10～12月期の実質GDP（国内総生産）成長率は3期ぶりに上昇。
- もっとも、企業の労働需要は依然として停滞し、固定資産投資も伸び悩む状況。
- 昨年終盤は生産が回復基調を辿ったものの、年明け後には企業の景況感が弱含む。
- 政府による住宅在庫の買い取りの本格化を背景に、住宅市況には一部で底入れの動きが表れる。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



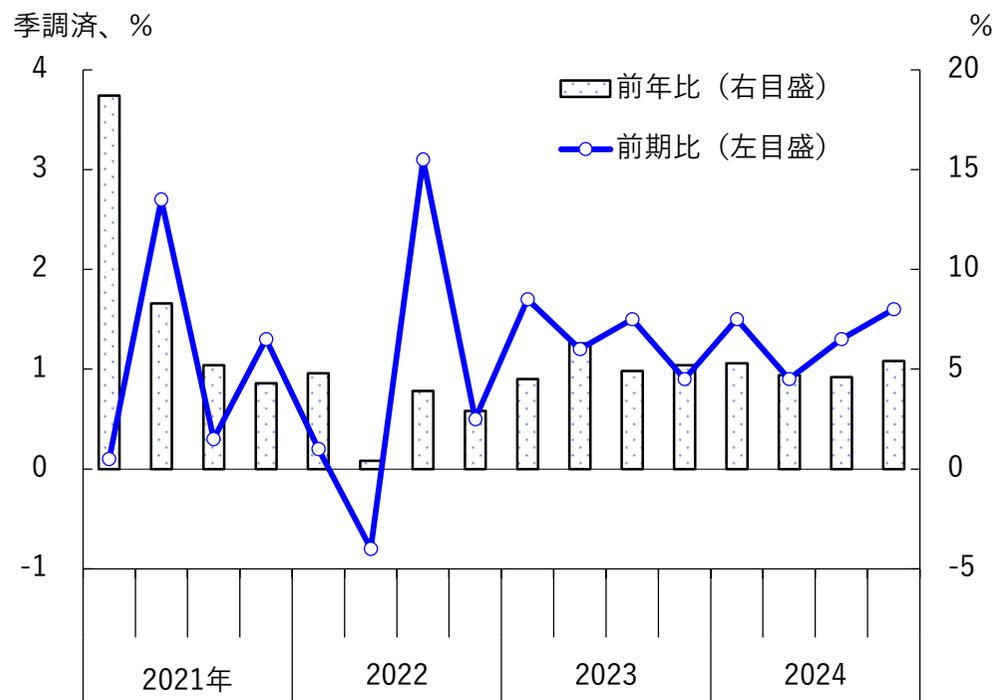
横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



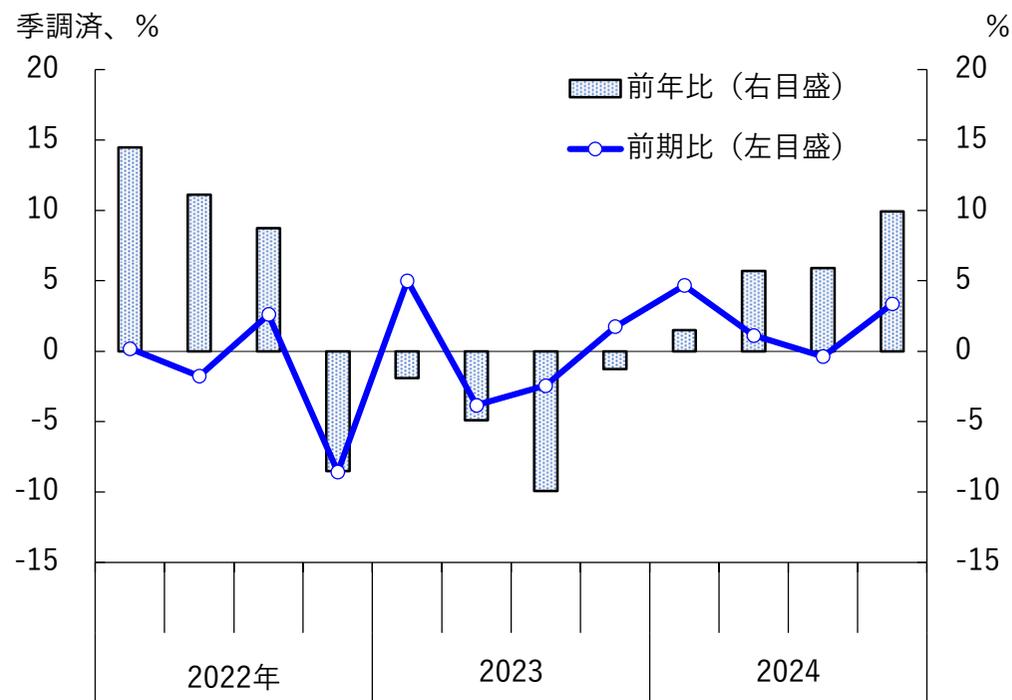
- 2024年10～12月期の実質GDPは前年比+5.4%（前期は同+4.6%）と、成長率が3期ぶりに高まった。季節調整値でも、10～12月期は前期比+1.6%と、前期（同+1.3%）に比べて増勢が拡大。
 - 輸出の持ち直しなどが成長率を押し上げた。
- 10～12月期の通関輸出は前年比+9.9%（前期は同+5.9%）と増勢が3期連続で拡大。
 - EU（欧州連合）向けが緩慢な回復にとどまったものの、ASEAN向けや米国向けは増加幅拡大。

実質GDP（国内総生産）成長率



出所：中国国家统计局

通関輸出



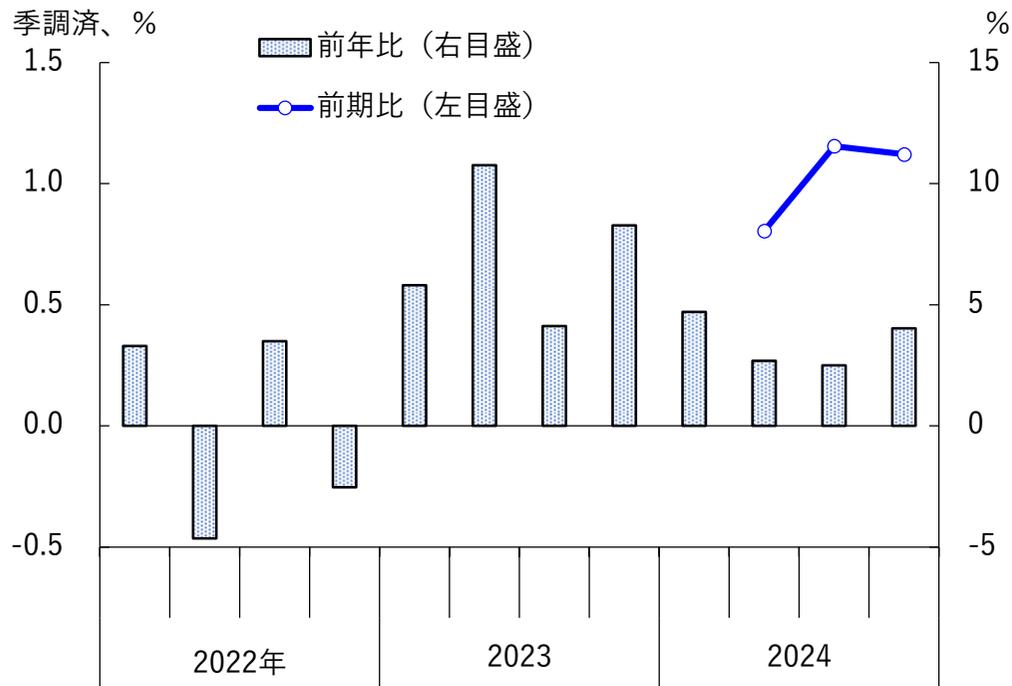
注：前期比は当社による季節調整値。

出所：中国国家统计局、CEIC資料より浜銀総研作成



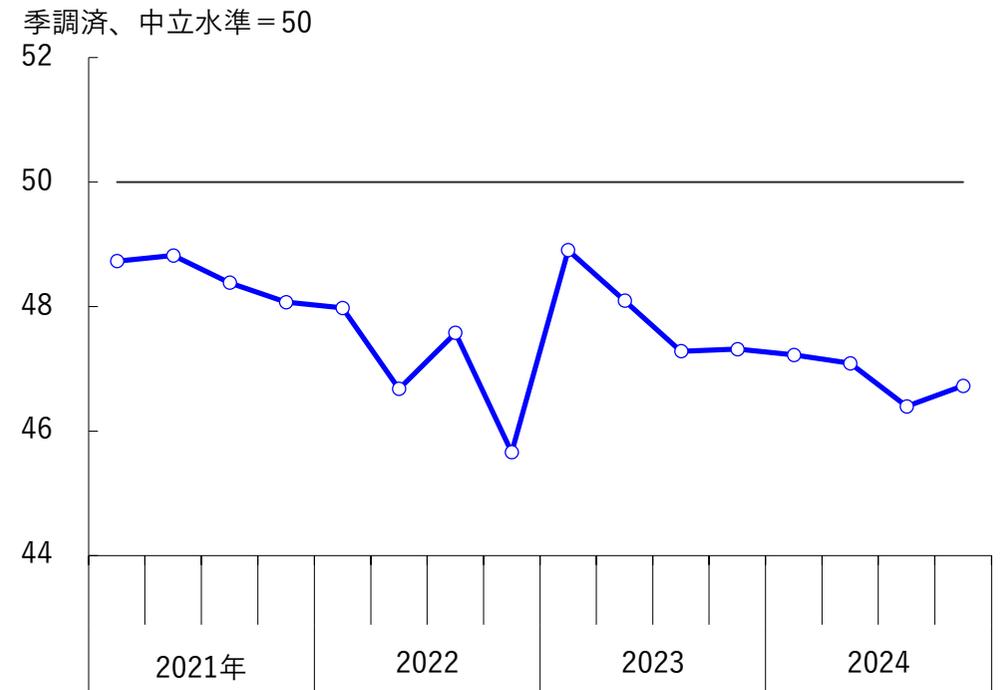
- 個人消費の動きを表す小売売上高は10~12月期に前年比+4.0%と前期の伸び（同+2.5%）を上回った。
 - 中国政府による耐久消費財の買い替え支援策の強化を背景に、自動車や家電製品などの販売が改善。
- 雇用情勢に関して、PMI（中立水準は50）の雇用指数を四半期平均すると、10~12月期は46.7と7~9月期（46.4）を若干上回ったものの、依然として低い水準で推移。企業の労働需要は引き続き停滞していると判断される。

小売売上高



注：前期比は当社による季節調整値。
出所：中国国家统计局、CEIC資料より浜銀総研作成

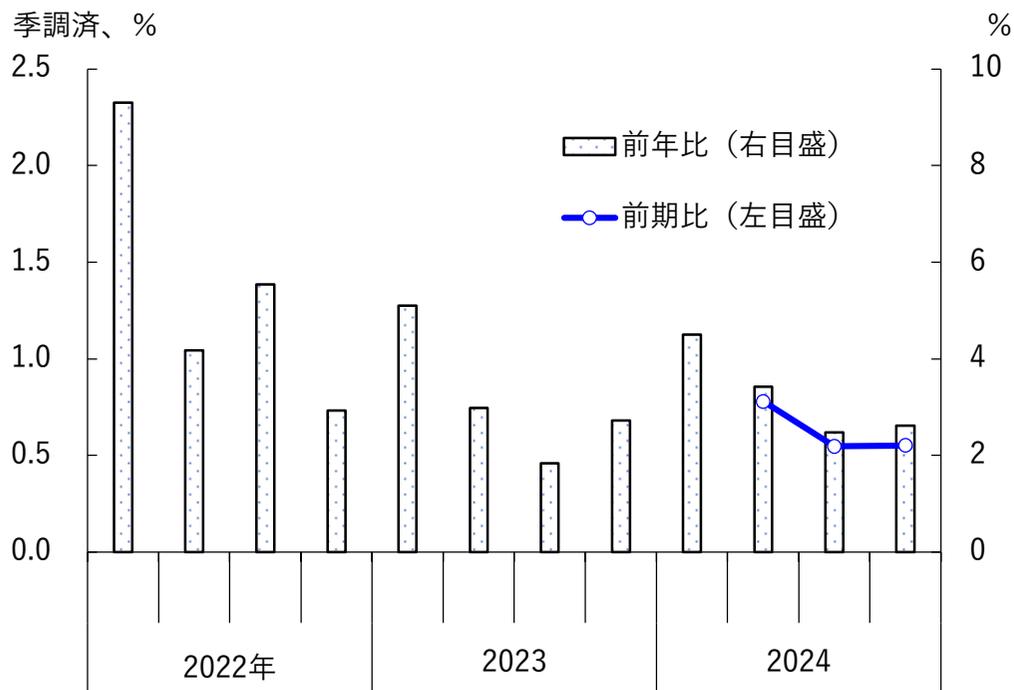
PMIの雇用指数



注：PMIは購買担当者景気指数。中国国家统计局資料より四半期ベースの数値を試算した。
出所：中国国家统计局資料より浜銀総研作成

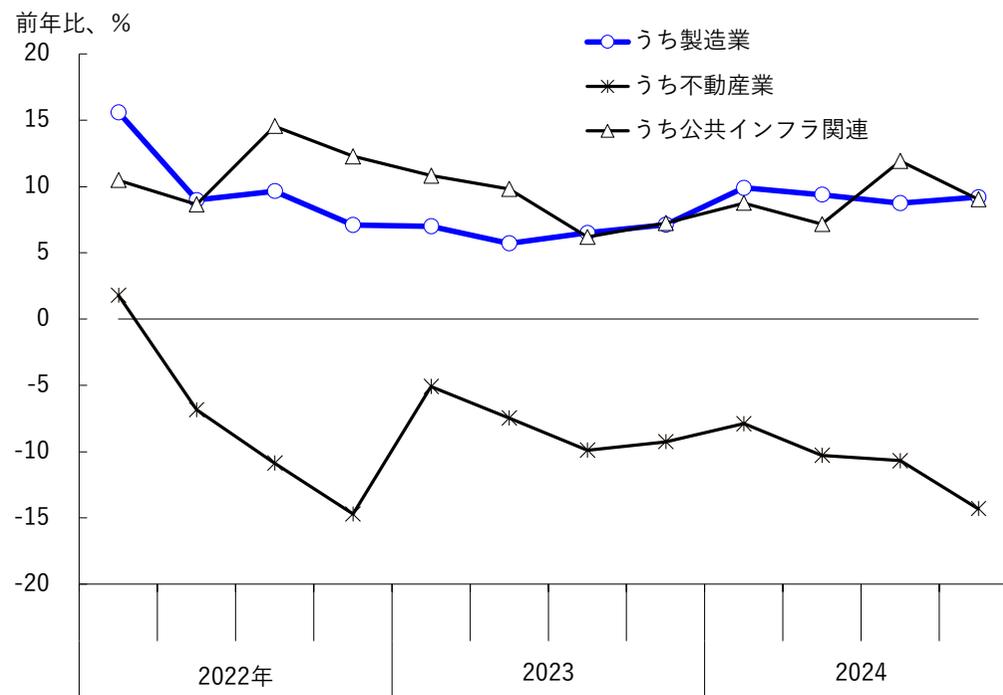
- 10～12月期の固定資産投資は前年比+2.6%（前期は同+2.5%）と伸び悩む。
 - 製造業の固定資産投資は同+9.2%と堅調に増加。一方、公共インフラ投資は同+9.0%と前期に比べて増勢が鈍化。地方財源に限りがある中で、地方政府による過剰住宅在庫の買い取りが本格化するにつれて、インフラ投資が抑制されたと考えられる。
- また、不動産業の投資も同-14.3%と2年ぶりの大幅なマイナス幅を記録。秋口に習体制が地方政府に住宅在庫の買い取りを指示する一方で、新たな住宅在庫の発生を抑えるために不動産投資の抑制措置を実施したことが背景にあると考えられる。

固定資産投資



注：中国国家统计局資料より四半期ベースの数値を試算した。
出所：中国国家统计局資料より浜銀総研作成

固定資産投資の内訳

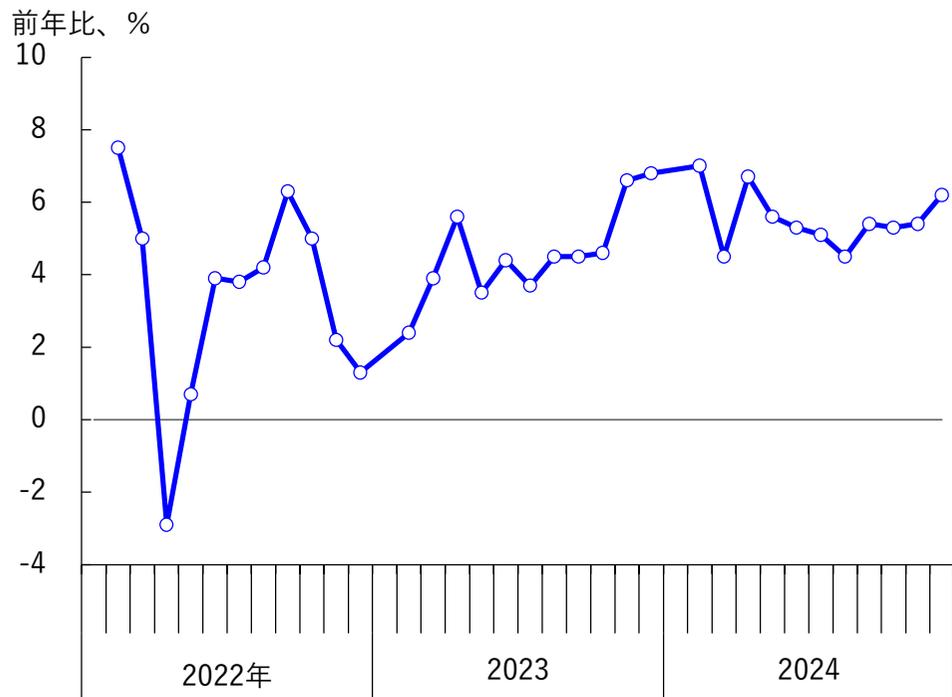


注：中国国家统计局資料より四半期ベースの数値を試算した。公共インフラ関連は交通運輸・倉庫・郵便業と、水利・環境・公共施設管理業、電力・熱力・ガス及び水生産・供給業との合計値。
出所：中国国家统计局資料より浜銀総研作成



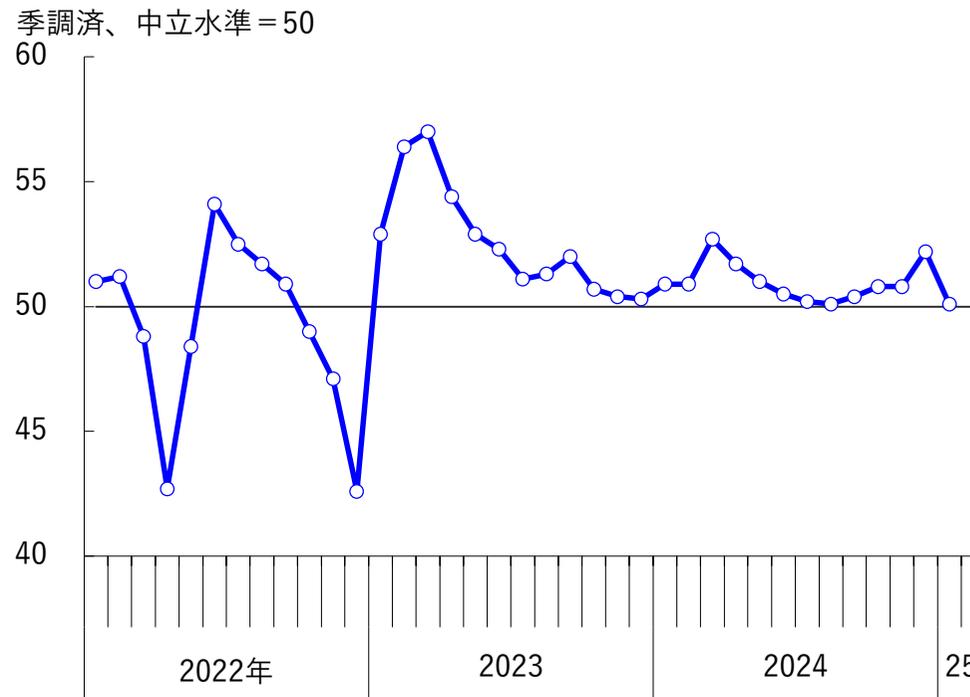
- 輸出の持ち直しなどを背景に、12月の鉱工業生産は前年比+6.2%と2か月連続で伸びが高まった。
 - 工業用ロボットと自動車为好調を維持し、冷蔵庫やテレビ、洗濯機なども堅調に増加。
- 一方、2025年1月の総合PMI産出指数（中立水準は50）は50.1と前月（52.2）を大きく下回り、年明け後に企業の景況感が弱含んでいることが示された。
 - 2025年の春節休暇（1月28日～2月4日）を前に企業の稼働が落ち、製造業PMIの「生産」指数と非製造業PMIはともに大幅に低下。ただし、「新規受注」の指数も落ち込んでおり、先行きには不透明感が残る。

鉱工業生産



注：前年比の各年2月は1～2月の累計値、データのない月は線形補間した。
出所：中国国家统计局

総合PMI産出指数（中国国家统计局発表）

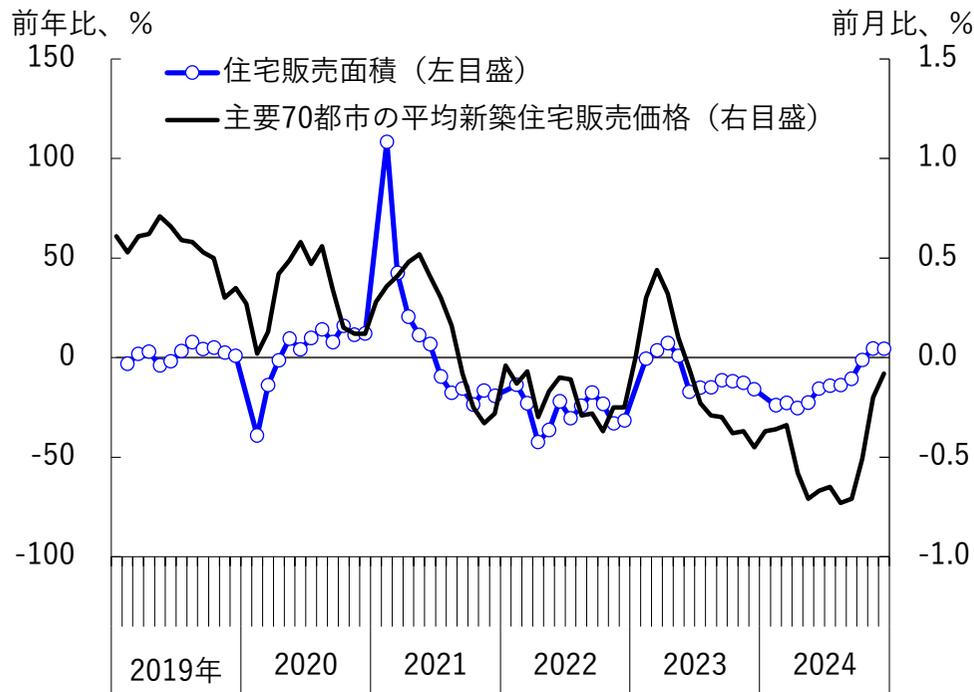


注：総合PMI産出指数は全業種（製造業と非製造業）の産出変化の状況を表す指標で、製造業PMIの「生産」指数と非製造業PMIで構成される。PMIは購買担当者景気指数。
出所：中国国家统计局



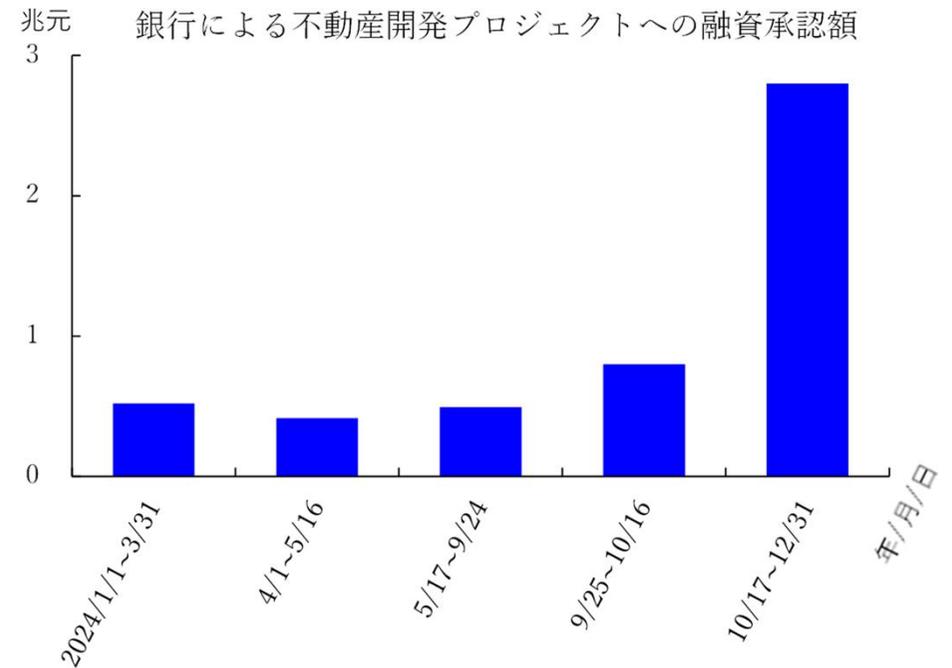
- 12月の住宅販売面積は前年比+4.4%と2か月連続で前年水準を上回った。また、同月の主要70都市の平均新築住宅販売価格も前月比-0.08%と4か月連続で下落幅が縮小。
 - 河南省や広東省といった地方政府が過剰な住宅在庫の買い取りを積極的に実施したことなどを背景に、住宅市況には一部で底入れの動きが表れ始めた。
- 10月以降、中国各地の銀行は、不動産企業の資金不足により中断していた不動産開発プロジェクトの再開・完成を目指すため、融資を加速させている。中国政府の公表によると、24年末までの銀行の融資承認額は5.03兆元（約108兆円）となり、政府が示した4兆元の目標を大幅に上回った。

住宅販売面積と住宅開発投資



注：中国国家统计局資料より前年比の月ベースの数値を試算した。前年比の各年2月は1~2月の累計値、データのない月は線形補間した。
出所：中国国家统计局資料より浜銀総研作成

銀行による融資承認額



出所：中国政府公表資料などより浜銀総研作成



浜銀総合研究所



2025年1月29日
調査部 主任研究員
白鳳翔

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5